



宮崎県議会議員

無所属 / 未来への風

わきたに

脇谷のりこ通信

Vol.10

2025年
秋号

「今こそ人への投資を!!」

ごあいさつ

このたび、私の所属する会派名を「親和会」から「未来への風」へと改めました。
約5年前の衆議院選挙では、自民党現職の不祥事を受け、私が地域の皆様の受け皿にならなければとの思いで自民党を離党し無所属で出馬。落選はしたものの多くの皆様のご支持をいただきました。そして県議会2期目に帰り咲いた際には、1万3千票余りを獲得、トップとわずか11票差という僅差で当選させていただきました。この重みのある一票一票が、今も私にとってかけがえのない原動力となっています。現在、無所属という立場であっても、皆様からの大きな信任があるからこそ、県政に声が届き、数々の要望を実現することができています。会派名「未来への風」には、皆様とともに地域の課題を乗り越え、新しい時代の追い風となって未来を切り拓きたいという思いを込めました。

これからもしがらみにとらわれず、現場の声を力に変え、地域の活力を高めてまいります。引き続き、変わらぬご支援とご指導を心よりお願い申し上げます。

県議会議員 脇谷のりこ

Profile

- ◆佐土原町生まれ。新富町立富田小・中学校卒
- ◆県立高鍋高等学校卒業（新体操でインターハイ出場）
- ◆武蔵野大学 人間関係学部卒業
- ◆フリーアナウンサーとして 約35年
- ◆宮崎市議会議員2期
- ◆宮崎県議会議員1期目
- ◆2021年9月 衆議院議員選挙出馬のため県議辞職
- ◆2023年4月 宮崎県議会議員2期目当選
前地域活性化対策特別委員会委員長

資格取得

- ◆宮崎県防災士
- ◆宮崎県レクリエーション・インストラクター
- ◆災害時救援ボランティアコーディネーター
- ◆認定心理士

趣味

- ◆コーラス（くすの木：渡邊先生）
- ◆旅行・フラ

令和7年6月

定例会一般質問



◆一般質問（令和7年6月16日）

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 社会保障制度について | 6 米高騰による学校給食への影響について |
| 2 介護士不足・介護賃金について | 7 スポーツキャンプの受入れについて |
| 3 病院の再編・統合について | 8 東九州新幹線の現状について |
| 4 放課後児童クラブの待機児童解消について | 9 選択的夫婦別姓について |
| 5 芸術文化推進について | |

一般質問動画▶



国への
要望

介護報酬の引き上げを!!

賃金の低さが介護士のなり手不足になっている現状・・・

令和6年 宮崎県の産業別労働者の給与月額

職種	給与月額	賞与
介護職員（医療・福祉施設等）	23万6,800円	45万3,600円
介護支援専門員（ケアマネジャー）	26万4,600円	82万7,500円
看護師	30万3,600円	69万3,900円
保育士	25万1,000円	82万2,400円
歯科衛生士	26万7,400円	23万6,900円
栄養士	24万8,300円	63万7,700円
全産業 給与平均	28万1,100円	65万3,800円

令和6年賃金構造基本統計調査による（厚労省）

介護職員の給与は、
全産業の給与月額の**4万4,300円低く**、賞与は**約20万円も低い**。

- * これでは介護士のモチベーションが上がらない。人手不足の原因である。
- * 国が決めている介護報酬 - 施設の必要経費（光熱費など）= 介護士の給与
- * 近年の物価高で施設側も経営難であるから、介護士の給与に反映されない
- * もとものの介護報酬を引き上げるべきである

国への
要望

県ごとに決められている
公定価格を見直すこと!



県への
要望

介護士の処遇改善加算を取得できるよう介護事業所への支援を!!

現状

1,923介護事業所のうち89.3%が
処遇改善加算を取得
残りの10.7%が未取得

理由

事務手続きの負担、
要件を満たすことが困難

県の 取組み

- * 介護事業所を対象として研修会の開催
- * 社会保険労務士を派遣し、加算の要件に必要な賃金体系や昇給の仕組みに係る助言を行っている。



学校給食費無償化について

質問

宮崎県内では、どれくらいの市町村が給食費を無償化しているの？

答弁

宮崎県では、令和7年5月1日現在、
・完全無償化を実施している自治体が**10市町村**
・半額や第2子以降の減免など
一部無償化している自治体が**14市町村**

無償化をしていないのは宮崎市を含む2市です。両市は児童生徒数が多く、必要な予算が非常に大きいため、独自の無償化は困難だとしています。

無償化や補助を実施している自治体の多くは、国から配られる「臨時交付金（物価高やコロナ対策で市町村に渡される特別なお金）」を使って、給食費や値上げ分を負担しています。しかし、これは一時的な仕組みにすぎず、将来的に続けられる保証はありません。

現在、物価高で値上げ分も含め給食費は、**小学校で約6000円、中学校で約7300円**です。 **高い!!**

子育て世帯にとっては、子どもが2人・3人いると給食費だけで毎月1万円以上になり家計にとって大きな負担です!!

これでは国の掲げる**少子化対策になっていません**。

さらに、自治体が独自に無償化を進めると、**市町村の財政にも大きな負担**となります。

質問

県として今後どのような対応をしようとしているの？

答弁

子育て世帯への支援や少子化対策の観点から意義あるものだと考えています。国は来年4月から全国の小学校で給食費を無償化する制度をつくろうとしています。しかし次のような課題もあります。

課題

- ・すでに経済的困窮世帯は完全無償化されているので、一律の無償化となることの妥当性
- ・食物アレルギー等により給食を食べていない児童もあり、児童生徒間の公平性
- ・国と地方の財政負担

などを踏まえて、国は制度設計を検討しています。

県としては、全国知事会を通し、恒久的な財源を確保すること、財政力による地域間格差が生じないこと、具体的な実施スケジュールなど地方の実情を踏まえた制度となるよう国に要望しています。



..... 私は県議として、以下のことを要望します。

国への要望

- ・自治体に負担を押しつけず、**国が全額負担**する仕組み。
- ・選挙の有無や政治状況に左右されない**恒久制度の確立**。

県への要望

現在、無償化している市町村や無償化できない宮崎市等、**全市町村に対しての支援を**。

**全ての子どもたちのために、
子育て支援のために今後も要望していきます。**

実績 昨年度に要求した「第2子以降の出産に対する支援を!!」

**今年度の事業として
拡充されました!!**

- ①市町村と連携した第2子保育料（0～2才児）
現行の利用者1/2負担を**1/4へ負担軽減**へ
- ②放課後児童クラブの待機児童解消
放課後の子ども居場所支援
- ③不妊検査・治療
- ④産後ケアの推進



\\ 様々な情報を発信しています //



公式HP



Facebook



Instagram



Youtube
「わきチャンネル」

ご意見、ご感想をお寄せください

県議会会派

無所属/ 未来への風

〒880-8501

宮崎市橘通東2-10-1

脇谷のりこ連絡先

☎090-8416-4546

FAX: 0985-47-9645

✉ nory22@lib.bbq.jp